

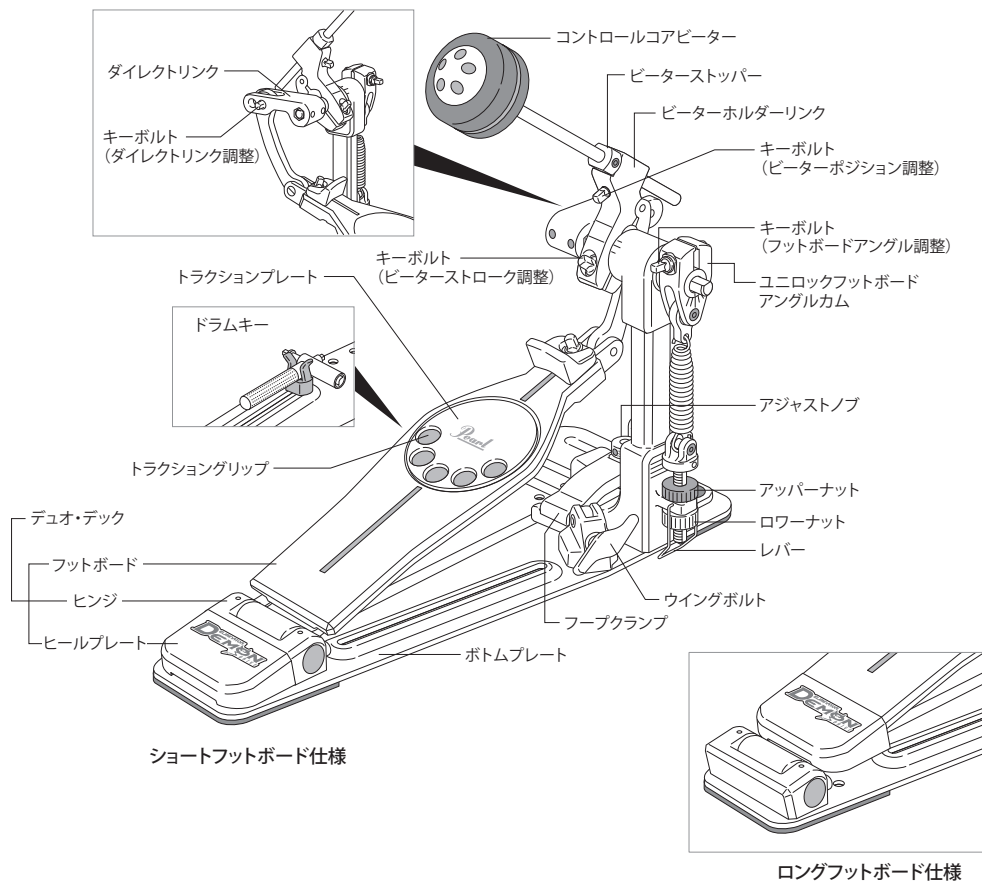
PEARL DRUM PEDAL

P-3000D



取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
製品の機能を十分に発揮してお使いいただくために、この取扱説明書をぜひご覧ください。



付属品

NiMiA オイル、マジックテープ (3枚)、六角レンチ (3mm・2.5mm)

コントロールコアビーターのセッティング

ビーターホルダーリンクにビーターストッパーが当たるまでコントロールコアビーターを差し込み、付属のドラムキーでキーボルトをしっかりと固定します(図1-A)。その際、ビーターストッパーがビーターホルダーリンクにしっかりとハマっている事をご確認ください(図1-B)。

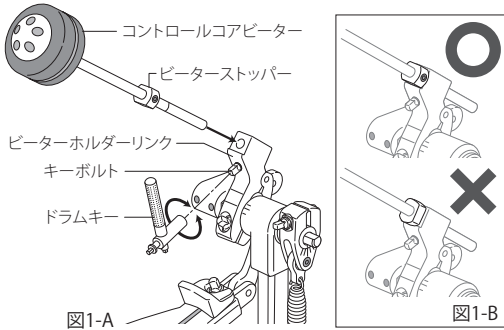


図1-A

図1-B

ヒント

ビーターストッパーの初期設定は、ビーターホルダーリンクの窓にあるインデックスマークと、シャフト上のラインが合わさった位置となっております(図2)。

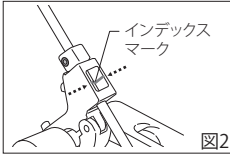


図2

コントロールコアビーターのポジションを変える際は、付属の六角レンチ(3mm) またはドラムキーでストッパーのアレンスクリューをゆるめ、ビーターホルダーリンクのキーボルトをゆるめてください。お好みのポジションが決まりましたらキーボルトをしっかりと締めてください。最後にビーターストッパーの向きに注意してアレンスクリューを締めてください(図3)。

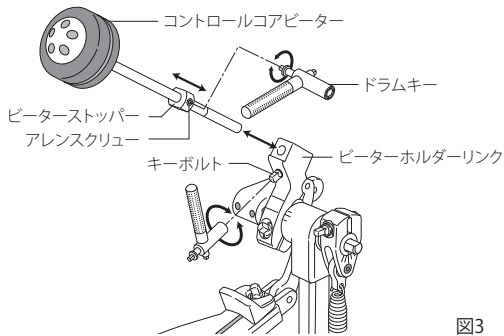


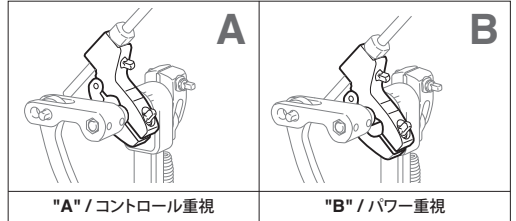
図3

ヒント

ビーターストッパーは、セッティングを再現する際にも効果的です。

ビーターストロークアジャストメント

P-3000D はビーターホルダーリンクを、コントロール重視の "A" ポジション、パワー重視の "B" ポジション、2つの位置にセッティングできます。



"A" / コントロール重視

"B" / パワー重視

また、ビーターの角度は無段階で、フットボードの角度と独立して行うことができます。

ヒント

ビーターホルダーリンクの初期設定は、"A" ポジションとなっております。

・ビーターホルダーリンクポジションの調整

"B" ポジションに変更するには、ビーターホルダーリンクのキーボルトをゆるめ、クランプを適度にひらき、ポジションを変えてください(図4-A、4-B)。その際、キーボルトは完全にゆるめる必要はありません。

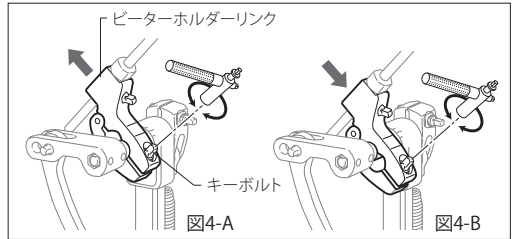


図4-A

図4-B

・ビーターアングルの調整

ビーターの角度を変えるにはキーボルトをゆるめ、ポストとビーターホルダーに刻まれた目盛りを参考にして、キーボルトをしっかりと締めてください(図5, 6)。

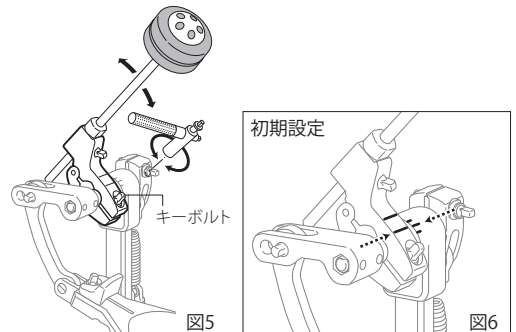


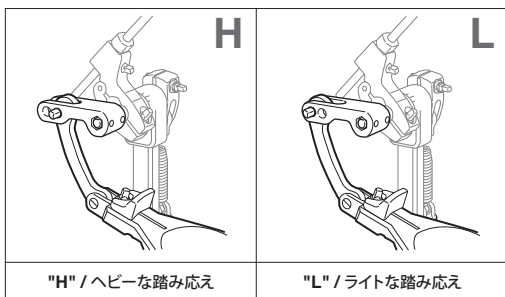
図5

図6

初期設定

ダイレクトリンクの調整

ダイレクトリンクはヘビーな踏み応えの "H"ポジションとライトな踏み応えの "L"ポジションの二種類のセッティングが可能です。

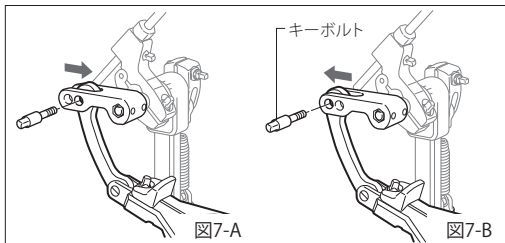


ヒント

ダイレクトリンクの初期設定は、"H"ポジションとなっております。

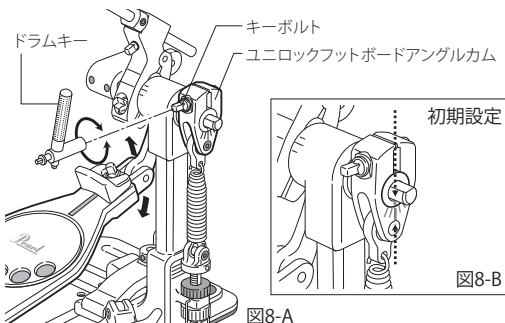
"L"ポジションに変更するには、付属のドラムキーでダイレクトリンクのキーボルトを取り外し、"L"ポジションの位置にキーボルトを差し込み、しっかりと締め付けます(図7-A、7-B)。

再び"H"ポジションに戻す際には、逆の作業を行ってください。



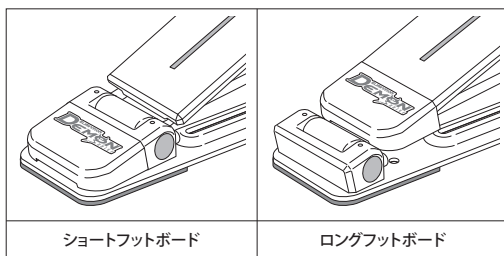
フットボードアングルの調整

ユニロックフットボードアングルクアのキーボルトをゆるめると、スプリングのテンションを変えずにフットボードの角度を無段階に調整することができます。角度が決まったらキーボルトで固定してください(図8-A)。また、ユニロックフットボードアングルクアには、メモリーゲージが刻み込まれているため、セッティングの際に便利です(図8-B)。



デュオ・デッキの調整

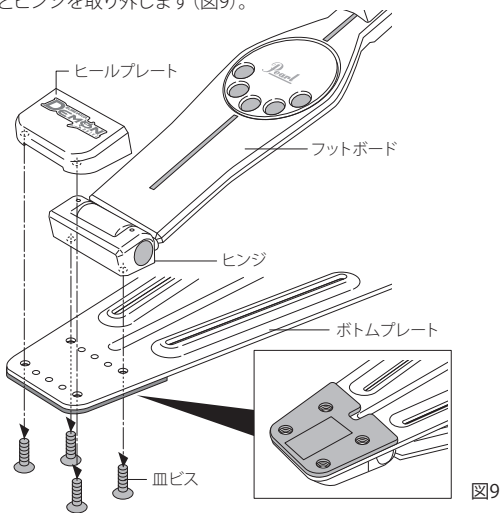
デュオ・デッキはショートフットボードとロングフットボードの2種類のモードに組み替えることが可能な新しい機能です。



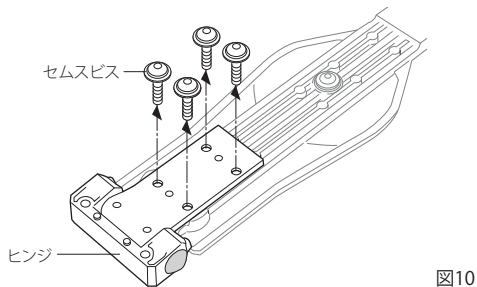
ヒント

フットボードの初期設定は、ショートフットボードとなっております。

ロングフットボードに変更するには、ペダルを裏返し、付属の六角レンチ(3mm)または、ドラムキーでボトムプレートの4箇所の皿ビスを取り外し、ボトムプレートからヒールプレートとヒンジを取り外します(図9)。



次に、ヒンジのセムスビスを付属の六角レンチ(3mm)、またはドラムキーを使い抜き取り、ヒンジを取り外します(図10)。



取り外したヒンジを図の位置にずらし、付属の六角レンチ (3mm) または、ドラムキーでセムスピスを再びしっかりと取り付けます (図11)。

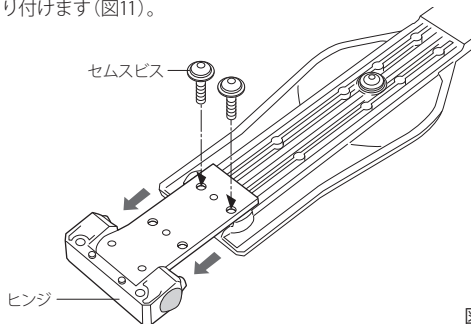


図11

最初に取り外したヒールプレートを実ボードとヒンジの間に置き、残りのセムスピス2本で固定します。最後にヒンジをアンダープレートに2本の皿ビスで固定して下さい (図12)。ショートフットボードに戻すためには逆の手順で取り付けを行ってください。

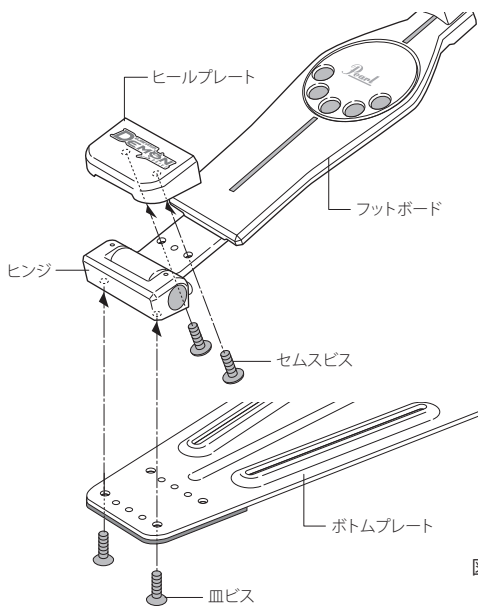


図12

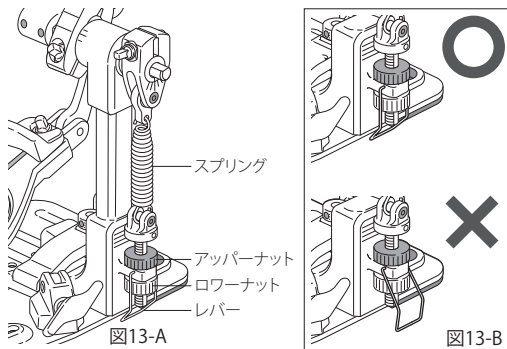
注意

デュオ・デック (フットボード) には、種類の異なるビスが使用されています。取り付けの際は、十分ご注意ください。



スプリングテンションの調整

P-3000D にはスプリングテンションを簡単かつ確実にロックできる "クリックロック" 機構が搭載されています。スプリングテンションを強くしたい場合にはレバーを上げて解除し、アッパーナットをゆるめてからローナットを締め付けます (図13-A)。スプリングテンションを弱くしたい場合にはレバーを上げて解除し、逆の手順で行います。好みのテンションが決まりましたらアッパーナットとローナットをしっかりと締めて下さい (このシステムは、調整後のゆるみを防ぐダブルナット方式ですので双方のナットを十分に締めて下さい)。最後にレバーをしっかりとローナットの溝にカチッと合まるまで下げてください (図13-B)。



フープクランプシステム

P-3000D のフープクランプシステムは、バスドラムのフロントを上げつつペダル自体が床に対して水平になるように球形のラバーグリップを要しています。取付けの際は、バスドラムのフープをはさみ、ウィングボルトを締めてペダルを固定します。

工場出荷時には、厚め、薄目のフープにも対応できるようにセッティングされていますが、フープの厚さが合わない場合やペダルが浮き上がってしまう場合は、付属の六角レンチ (2.5mm) でアレンスクリューをゆるめ、アジャストノブをまわして調整して下さい。調整が終わったら、再びアレンスクリューを締めて固定してください (図14)。

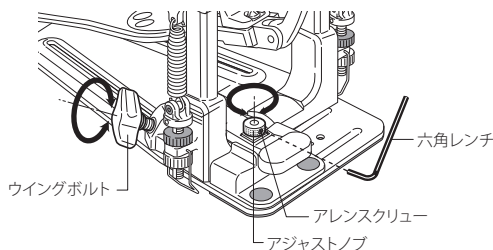


図14

トラクションプレート/ トラクショングリップの設定

フットボードに埋め込まれたトラクショングリップは個別に取りはずして、お好みのグリップ位置にセッティングすることが可能です。トラクショングリップの位置を変更する際は、付属の六角レンチ(3mm)または、ドラムキーでフットボード裏のネジをゆるめ、トラクションプレートを外してください(図15)。お好みのトラクショングリップの位置が決まりましたらトラクションプレートをグリップの位置に合わせ、裏のセムスネジをしっかりと締めてください。

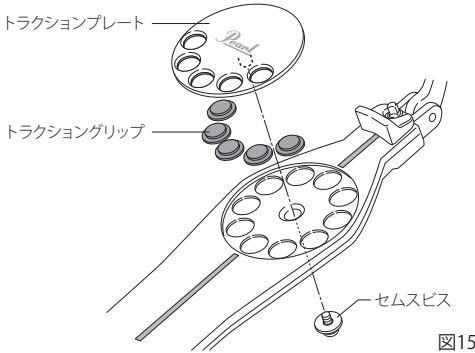
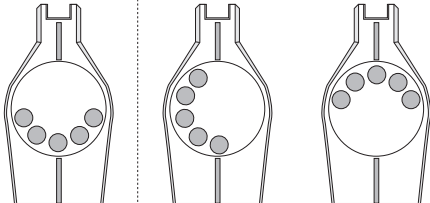


図15

ヒント

初期設定

トラクショングリップ変更例



より強いグリップ感をお望みの場合は、別売りの P-2000シリーズ用トラクションラバー(NP-238N) も取り付け可能です。

滑り止めマジックテープの装着

カーペット面などで演奏をする際の滑り止めとして、同梱のマジックテープを図の位置に貼り付けてください(図16)。貼る面のほこり、油分、水分はよくふきとってください。

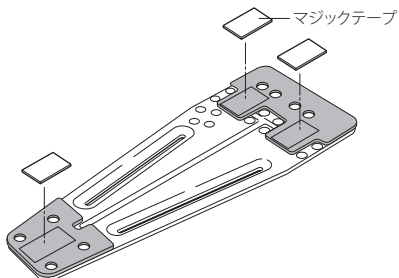
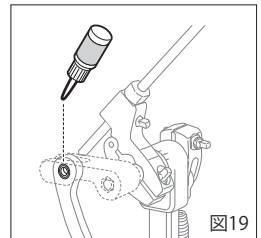
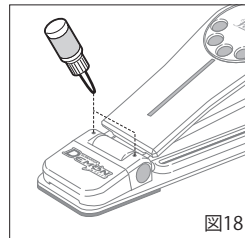
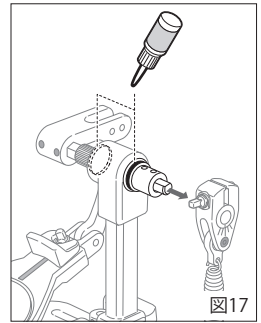


図16

NiNJATM オイル

P-3000D は高性能の NiNJA ベアリングを搭載しており、スピードに優れたスムーズな動作性を実現しております。この動作性を維持するためには付属の NiNJA オイルを定期的に注油してください(図17)。

また、ヒンジ、ダイレクトリンクにもスムーズなアクションが得られる特殊ベアリングを搭載しておりますので、こちらにも定期的に注油してください(図18, 19)。



注意

付属の NiNJA オイル以外は注油しないでください。

オプション(別売り)

- ウッドビーター (B-300W)
- トラクションラバー (NP-283N/7)
- NiNJA オイル (OL-300)

注意

- ◆ ご使用の際は、すべてのネジ類がしっかりとしまっている事をご確認ください。ネジ類がゆるんだ状態でそのまま使用されますと、製品の破損および、思わぬ事故の原因となります。

Pearl[®]

パール楽器製造株式会社

〒276-0034 千葉県八千代市八千代台西10-2-1

電話：047-484-9111 (代表)

〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田593-1

電話：047-450-1090 (テクニカルサポート)

<https://www.pearldrum.com>

製品改良のため予告なくデザイン・仕様を変更する場合がありますので御了承下さい。

Printed in China

-Jan 2021-